

# 教頭通信デジタル

令和4年10月19日（水）第19号

文責：備前市立三石中学校 早川政宏

## 地区奉仕活動に取り組みました

10月18日（火）、地区奉仕活動を行いました。午前中は2学期中間テストがあり、給食、そして、帰りの会を行い、武道場前で出発式を行いました。風紀委員長から激励のあいさつがあり、生徒たちは自宅のある地区の清掃活動を行いました。この行事には2つの目的があります。

- 奉仕活動に積極的に取り組むことによって、郷土を愛する心を育てる。
- 奉仕活動をととして、奉仕の心と協力の精神を養う。

この日に向けて、地区長は地区担当の先生方と相談しながら、具体的な清掃場所や清掃内容等を考え、計画書を作成しました。そして、先週の放課後には地区生徒会（地区会）を行い、地区長が地区の生徒たちに奉仕活動について説明しました。また、各学年の先生方は、事前に【郷土を愛する態度】を内容項目とした道徳の授業を行うことで、地区奉仕活動が実り多きものになるようにしました。全ての地区の奉仕活動の様子を見に行くことはできませんでしたが、担当の先生方からは、ごみ拾いや草取り等を一生懸命に行い、地域（郷土）の美化活動に貢献できていた、との報告がありました。

1学期に郷土を愛することの大切さについて考える機会がありました。それは、7月12日（火）に行った、2年生を対象とした職業人講話でした（職場体験学習の事前学習として実施しました）。講師は八木山に本社を構える株式会社ノブハラの大延原 巖 代表取締役会長様でした。いろいろなお話を伺いましたが、特に、SDGs (Sustainable Development Goals) の趣旨に賛同し展開している『地域社会への貢献活動』において、随所に大延原会長様の三石地区（備前市）に対する郷土愛を感じることができ、非常に感銘を受けました。三石学園（三石小・中学校）で学んだ児童・生徒、三石学園（三石小・中学校）に勤務した教職員には、いつまでも三石地区を大切に思っていてほしいと思いました。

